

山口県立山口博物館協議会が開催されました。

山口県子連がメンバーになっています。

今回の協議会では本年度の事業の取組状況や次年度に向けた検討課題等が議題になりました。協議会委員は8名で毎年2回開催されています。構成は小中学校、大学、社会教育団体、他の博物館等からなっています。

以前、特別展の実行委員として取組の一部にふれる機会はありませんでしたが、今回は初めて山口博物館の事業全体を知ることとなりました。理科教育や歴史分野の専門家が集結して年間を通して様々な取組を行っていることがよくわかりました。また、長期研修教員も加わって、学校や地域での講座を提供されています。

夏に開催された特別展「大解剖！からくりワールド」は過去最多の入館者を迎え、大成功に終わりました。私も入館しましたが、体験型の仕掛けが盛りだくさんで子どもたちは思わず見たくなる、やりたくなる、そして帰りたくなるような企画でした。知らない同士でも、年齢が上の子が下の子を手伝いながら作ったり、やり方を教えてあげたり、子ども会活動の原点を見る思いでした。

どの企画も多くの企業や団体等の関係者が集まって知恵を絞って作られています。県子連は多くの他団体のパートナーであり、「地域の絆をつくる子ども会」をめざすには関係団体と連携・協力していくことが求められています。

